

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第32週 > インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-8

< マイコプラズマ肺炎 > 2005年は過去5年間の同時期と比較して、常にその平均値を超える状態が続いている
< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第32週までの累積報告数は1,816例である



病原体情報
P.9-11

手足口病患者から検出されているウイルス 2005年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2005年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年



速報
P.12

宮城県における手足口病の地域流行



海外感染症情報
P.13-14

鳥類でのH5N1型鳥インフルエンザ感染の地理的拡大 ; 現状の評価と公衆衛生上の意義 / 中国での豚レンサ球菌流行



感染症の話
P.15

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(32週)
P.16-22



32週のデータ
P.23-34



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第32週コメント > 8月18日集計分

全数報告の感染症

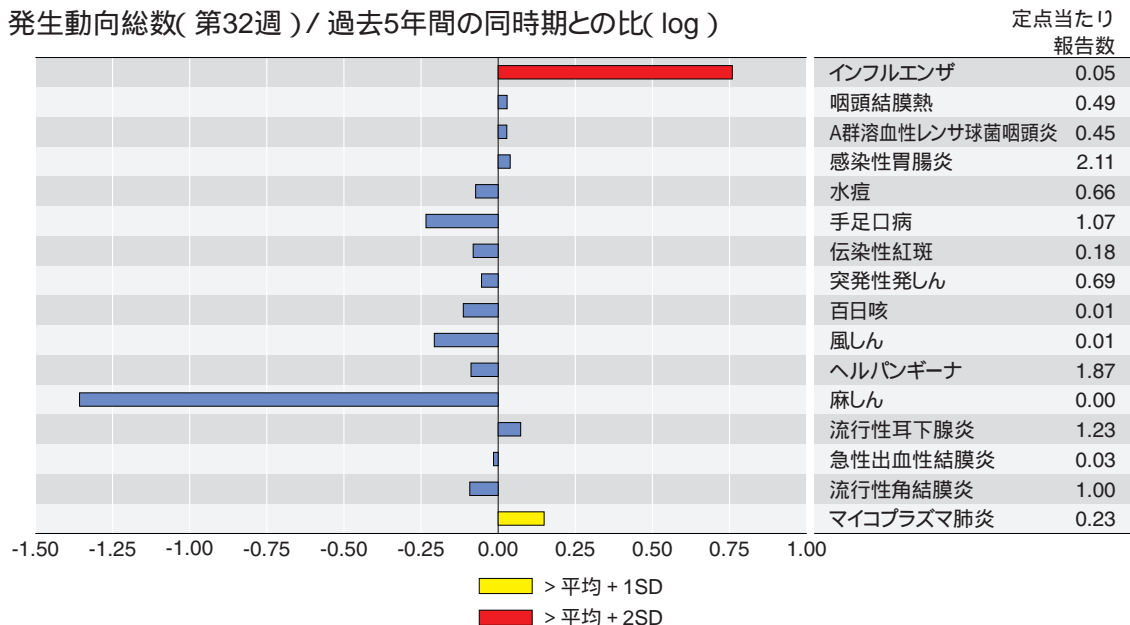
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢 9例(推定感染地域: 国内3例、インド2例、中国1例、インドネシア1例、フィリピン1例、ベトナム1例)
 - 腸チフス 2例(推定感染地域: フィリピン1例、疑似症1例)
 - パラチフス 1例(推定感染地域: 中国)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 137例(うち有症者100例)
 - 報告の多い都道府県: 千葉県(15例)*、愛知県(14例)、大阪府(11例)
 - *うち10例は児童福祉施設での集団発生
 - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(46例)、O157 VT2(41例)、O26 VT1(21例)、O111 VT1・VT2(4例)、O157 VT1(3例)、O26 VT1・VT2(3例)、O111 VT1(1例)、O111 VT2(1例)、その他(17例)
 - 年齢: 10歳未満(64例)、10代(21例)、20代(23例)、30代(13例)、40代(3例)、50代(4例)、60代(7例)、70歳以上(2例)
 - 4類感染症: オウム病 1例(推定感染源: インコ)
 - デング熱 2例(推定感染地域: インドネシア1例、シンガポール1例)
 - 日本紅斑熱 2例(島根県1例、高知県1例)
 - ライム病 1例(推定感染地域: 国内)
 - レジオネラ症 6例(60代3例、70代3例)
 - A型肝炎 1例(推定感染地域: ブータン)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 7例
 - 推定感染地域: 国内5例、不明2例
 - 推定感染経路: 経口3例、性的接触(同性間)1例、不明3例
 - ウイルス性肝炎 4例
 - B型3例(推定感染経路: 性的接触(異性間)2例、不明1例)
 - C型1例(推定感染経路: 性的接触(異性間))
 - クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(とともに孤発性)
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(40代、死亡)
 - 後天性免疫不全症候群 11例(無症候7例、AIDS 4例)
 - 推定感染経路: 性的接触8例(異性間4例、同性間4例)、不明3例
 - 推定感染地域: 国内9例、不明2例
 - ジアルジア症 2例(推定感染地域: 国内1例、不明1例)
 - 梅毒 12例(早期顕症I期5例、早期顕症II期5例、無症候2例)
 - 破傷風 1例(70代)
 - バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
 - (遺伝子型: VanB_菌検出検体: 便)
- (補)他に報告遅れとして、デング熱3例(推定感染地域: ミャンマー1例、フィリピン1例、シンガポール1例)、ライム病1例(推定感染地域: 国内)、急性脳炎2例(とともに病原体不明(4歳、および10代の死亡例))の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第32週) / 過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

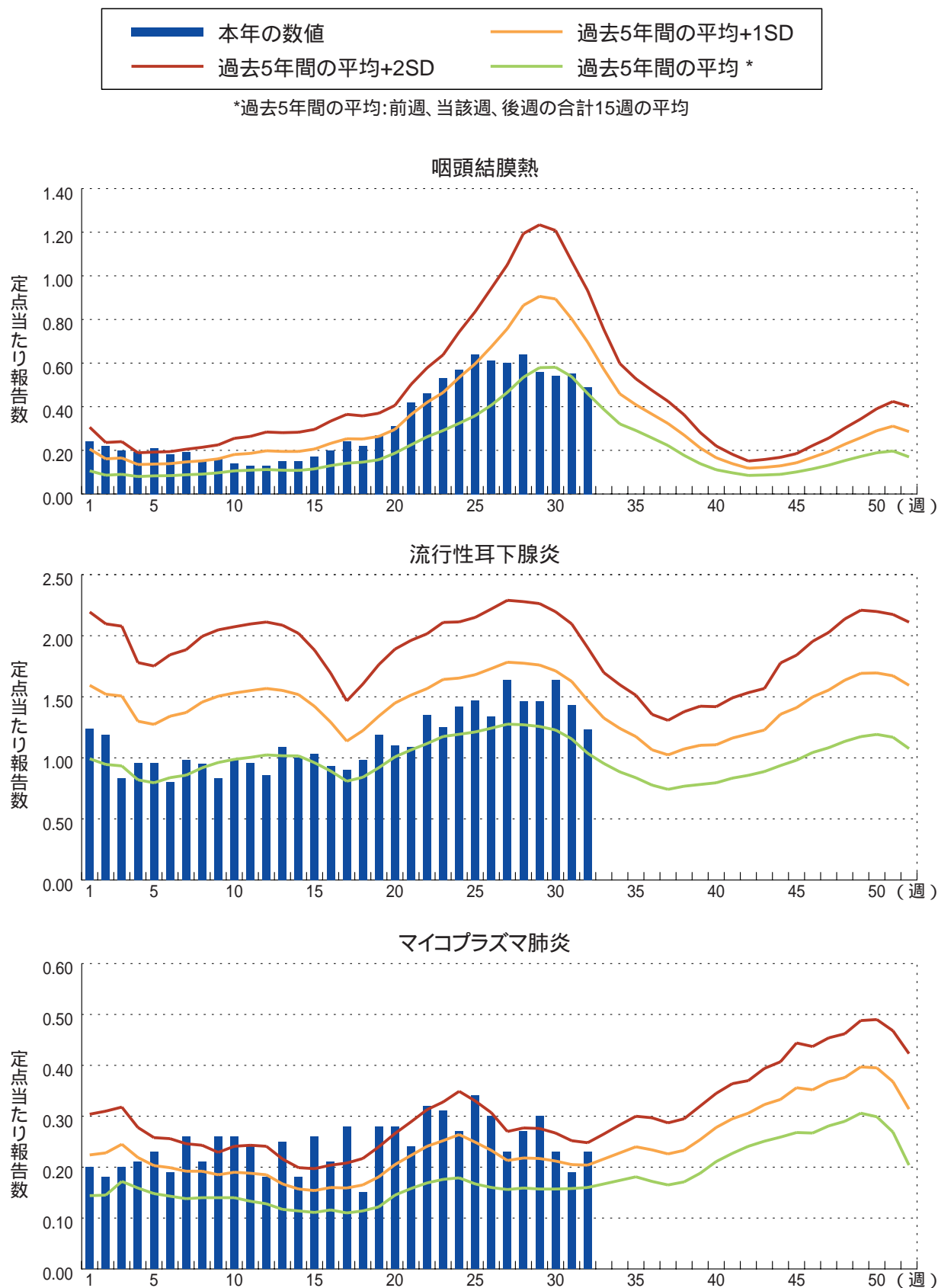
インフルエンザ定点報告疾患 : 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態が継続している。都道府県別では沖縄県(3.36)、鹿児島県(0.17)、茨城県(0.07)が多い。

小児科定点報告疾患 : 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では愛媛県(1.5)、高知県(1.4)、静岡県(1.2)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第22週以降、減少が続いている。都道府県別では山口県(1.00)、宮崎県(0.89)、大分県(0.83)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第21週以降、減少が続いている。都道府県別では福井県(7.1)、大分県(5.5)、宮崎県(4.9)が多い。水痘の定点当たり報告数は3週連続して減少した。都道府県別では福井県(1.3)、大分県(1.1)、島根県(1.0)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第28週以降、減少が続いている。都道府県別では鳥取県(5.9)、山口県(4.4)、岡山県(4.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第28週以降、減少が続いている。都道府県別では青森県(0.60)、鹿児島県(0.54)、福岡県(0.50)が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では福岡県(0.08)、香川県(0.06)、長崎県(0.05)が多い。風しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では福島県(0.04)、広島県(0.03)が多いが、福島県では継続的に同一地域での発生が認められている。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第28週以降、減少が続いている。都道府県別では長野県(5.3)、宮崎県(5.3)、青森県(5.0)、大分県(4.4)が多い。麻しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では山梨県(0.04)、新潟県(0.03)、大阪府(0.02)、長崎県(0.02)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続して減少した。都道府県別では石川県(4.7)、沖縄県(3.0)、香川県(2.4)、熊本県(2.3)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて32都道府県から31例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下が全体の約45%を占めている。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では岡山県(2.2)、石川県(1.6)、山口県(1.4)が多い。

(補) 東京都の風しんおよび麻しんの報告は取り消し予定。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2005年第1 ~ 32週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、マイコプラズマ・ニューモニエ(*Mycoplasma pneumoniae*)を病原体とする呼吸器感染症である。感染経路としては飛沫感染による経気道感染が主である。感染には濃厚接触が必要であり、保育施設、幼稚園、学校などの施設内や家庭などでの感染伝播はみられるが、短時間の曝露による感染拡大の可能性はそれほど高くはない。潜伏期間は2～3週間であり、初発症状は発熱、全身倦怠、頭痛などである。本症の特徴的な症状である咳は、初発症状発現後3～5日後より始まることが多く、当初は乾性咳であるが、経過に従って徐々に増強し、解熱後も長期にわたって(3～4週間)持続することがある。

これまで、わが国では4年周期でオリンピックの年に流行がみられてきたが、近年この傾向は崩れつつある。2000～2004年にかけて、マイコプラズマ肺炎の報告数の増加がみられており、2005年も第32週現在の累積報告数が、2000年以降では最高値となっている(図1)。また、2005年は過去5年間の同時期と比較して、常にその平均値を超える状態が続いている(図2)。都道府県別では2000年以降、宮城県、岩手県、山形県などの東北地方の県が毎年上位にあり、2005年もその傾向は変わってはいないが、第32週現在での累積報告数が最も多いのは山口県である。季節的には通年性に発生が認められるが、過去5年間では冬季(第50週前後)にピークがみられ、またこの3年間では夏季(第25週前後)にも小さなピークがみられている(図3)。

最近の増加については、患者血清を用いた迅速診断キットの普及による影響も否定はできないものの、今後は冬季に向けてマイコプラズマ肺炎の発生報告が増加していくものと考えられるため、その発生動向には注意が必要である。

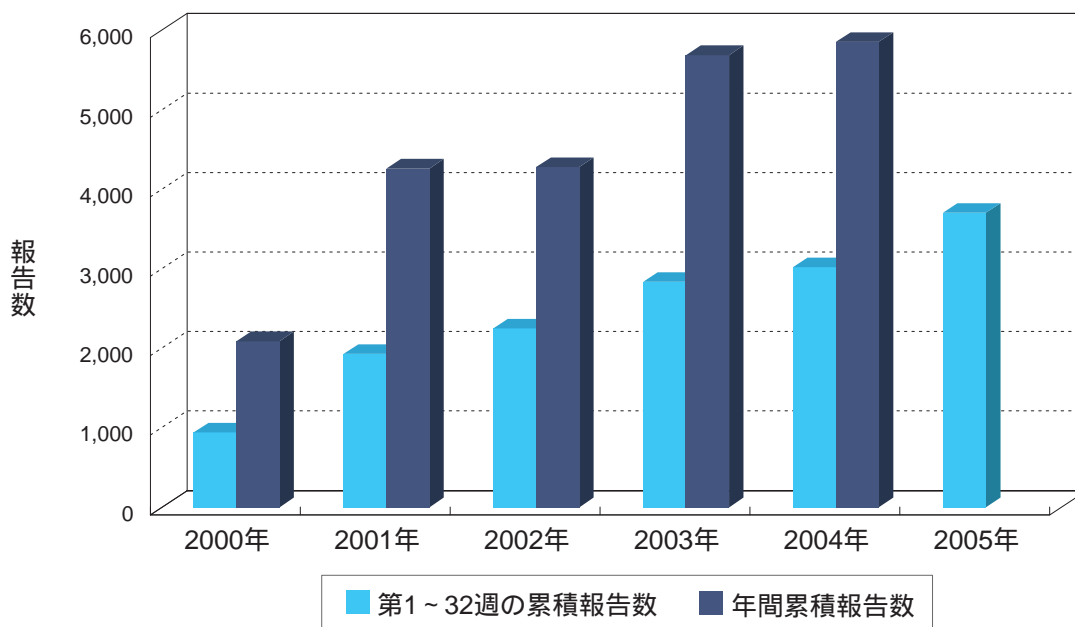


図1. マイコプラズマ肺炎の年別発生状況(2005年第32週現在)

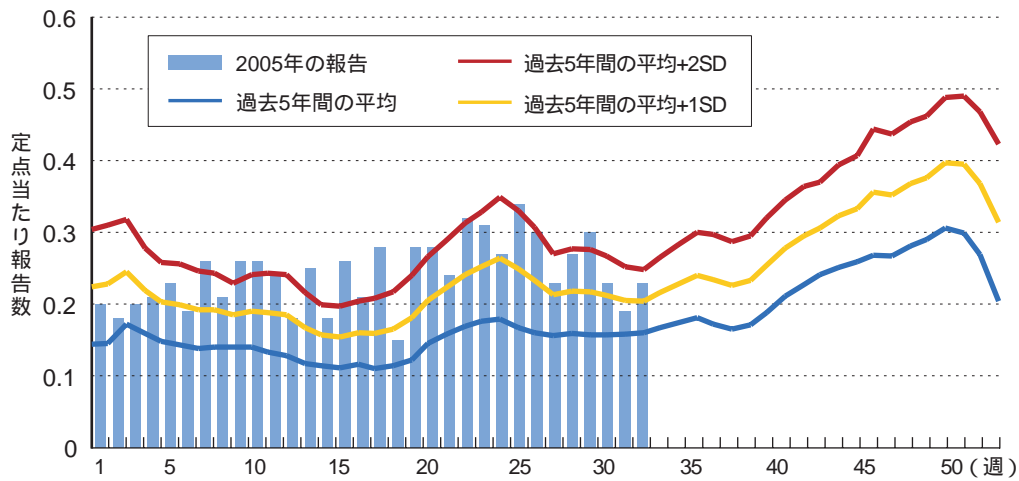


図2. 2005年におけるマイコプラズマ肺炎の過去5年間との週別比較

2005年の値を棒グラフで、過去5年間の平均（前週、当該週、後週の合計15週の平均）およびその標準偏差（+1SD、+2SD）を折れ線グラフで示した。

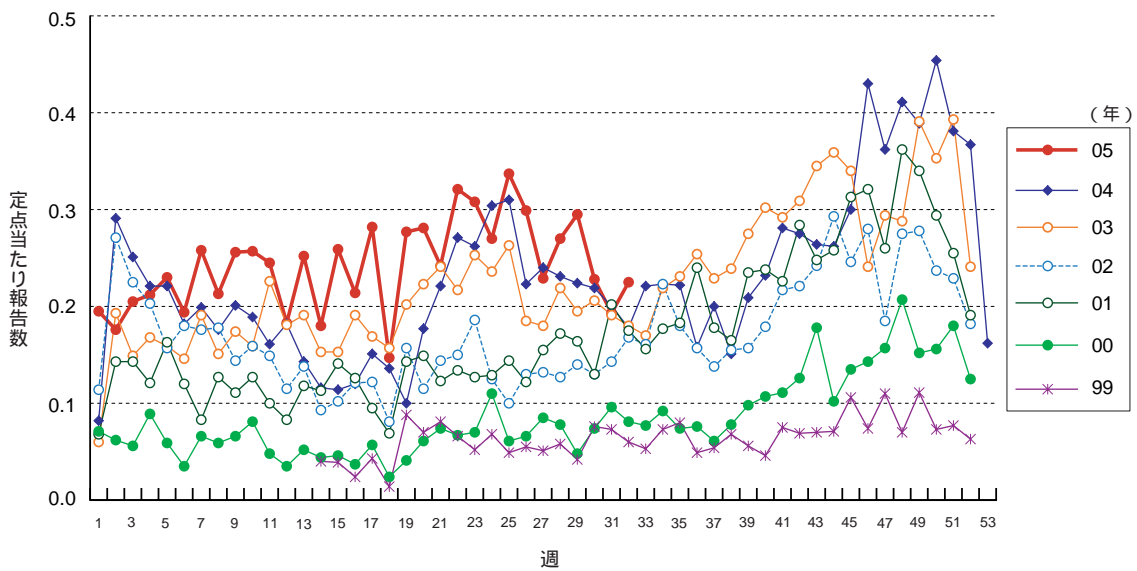


図3. マイコプラズマ肺炎の年別・週別発生状況(1999-2005年)

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の2005年の報告数は第20週に50例を超えた後、増加傾向が認められ、第23週には100例、第28週には150例を超えた。その後は週ごとに増減はあるものの、第26週からは継続して100例を超えている。本年第32週までの累積報告数は1,816例(2002年1,924例、2003年1,282例、2004年1,907例)であり、現在までのところ、例年に比べて特に多いとは言えない(図1)。

都道府県別では、第32週に報告の多かったのは千葉県(15例)、愛知県(14例)、大阪府(11例)であり、千葉県では児童福祉施設での集団発生が認められている。また、累積報告数では大阪府(111例)、北海道(108例)、東京都(107例)が多い(図2)。

第32週に報告された137例のうち、性別では男性55例、女性82例であり、年齢階級別(10歳毎)では相変わらず0 ~ 9歳(64例)が最も多く、47%を占めた(図3)。また、有症状者は100例(73%)で、無症状病原体保有者が37例であった。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって発見される場合もあるが、多くは探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。また、第32週には、溶血性尿毒症症候群(HUS)、死亡ともに報告はなく、累積ではそれぞれ19例、2例である。HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、発生があった場合の追加・修正報告をお願いしている。

血清型・毒素型別では、第32週はO157 VT1・VT2(46例)、O157 VT2(41例)、O26 VT1(21例)の順に多く、累積報告数では、O157 VT1・VT2(682例)、O157 VT2(383例)、O26 VT1(325例)の順に多い。

例年集団発生が多く認められる保育施設も含め、本年も各種施設における集団発生や死亡の報告がなされており、十分な警戒が必要である。食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。保育所においては、特にオムツ交換時の手洗い、園児に対する食前・食後の手洗い指導の徹底、簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。

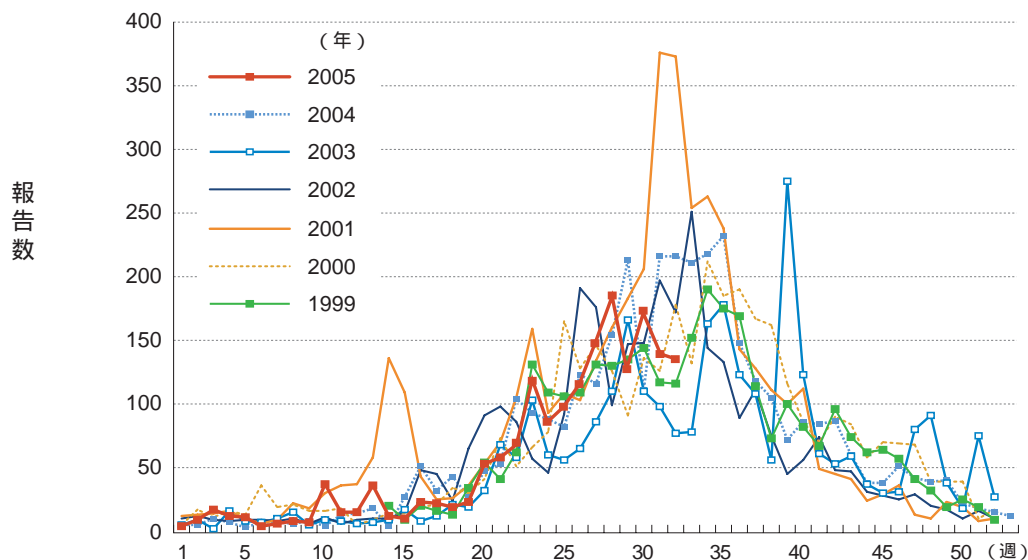


図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別・週別発生状況

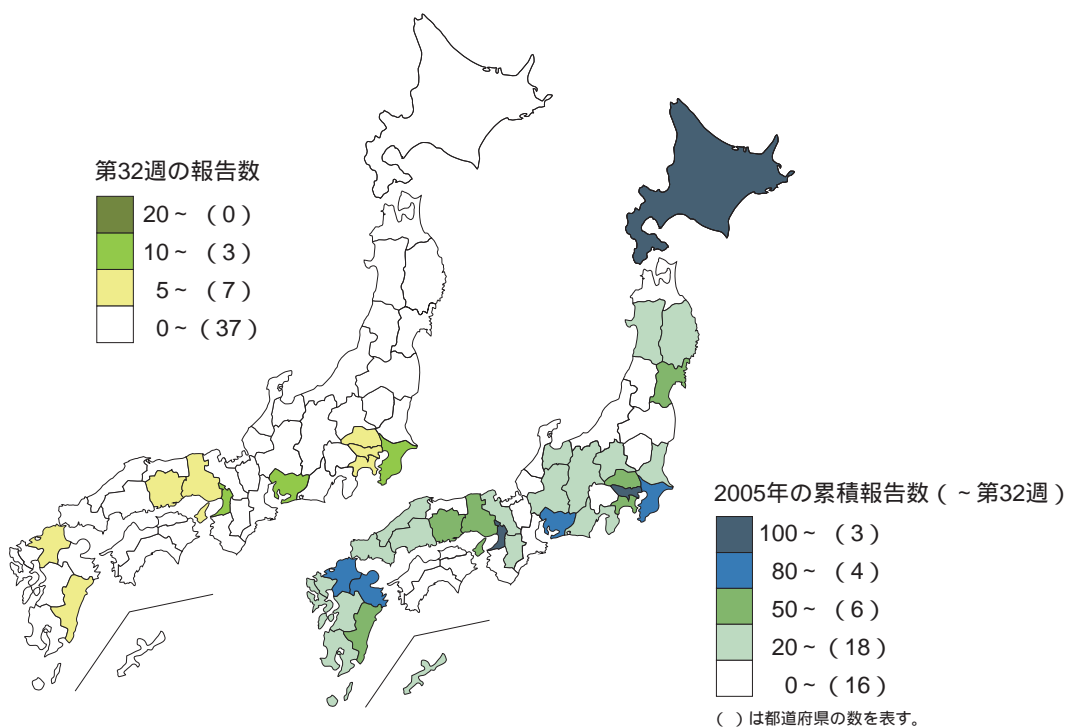


図2. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況

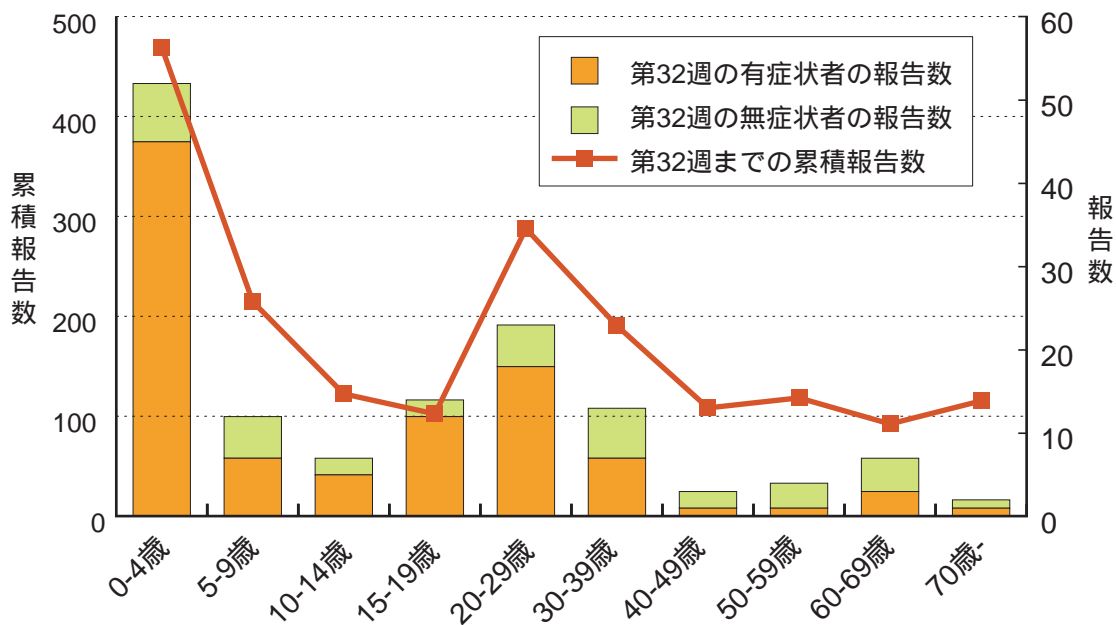


図3. 腸管出血性大腸菌感染症の年齢別発生状況



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

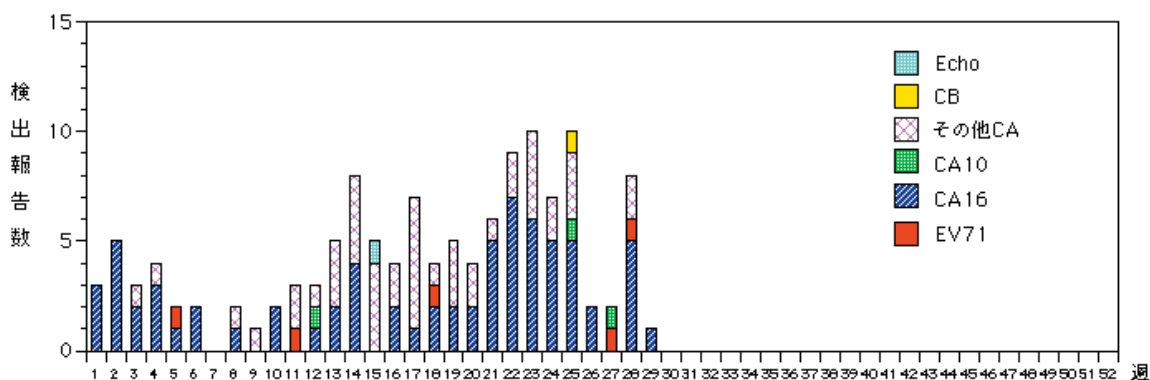
(2005年8月19日現在報告分)

手足口病患者から検出されているウイルス 2005年

A群コクサッキーウイルス16型(CA16)が年初から第29週までに71件、CA6が45件、エンテロウイルス71型(EV71)が5件、CA10が3件、CA5、B群コクサッキーウイルス3型(CB3)、エコーウイルス3型(E3)が各1件報告されている。

CA16は宮城県16件(本号12ページ「速報」参照)をはじめ、16府県で検出されている。

週別手足口病患者からのウイルス分離報告数、2005年 (病原微生物検出情報：2005年8月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



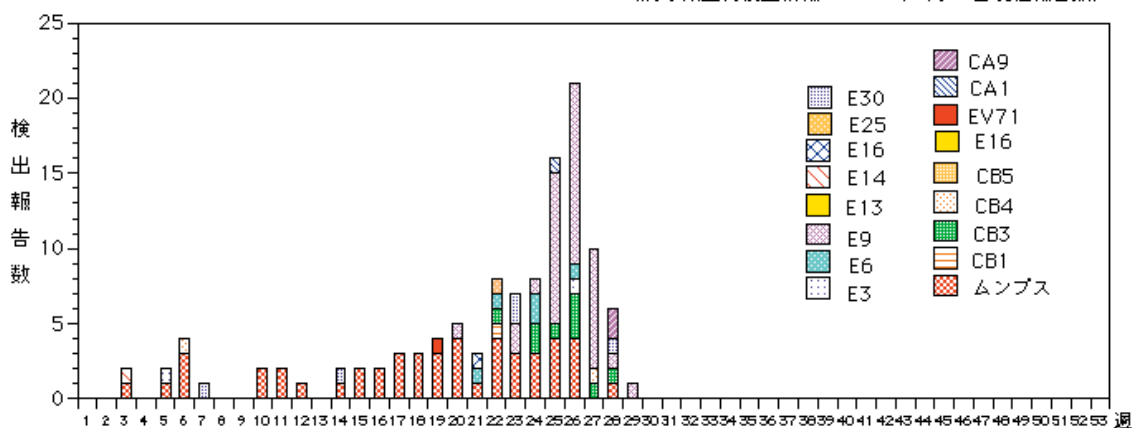
無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2005年

2005年の検出総数は125件で、このうちムンプスウイルスが48件と4割を占めている。エンテロウイルスではE9が36件、CB3が10件、E6、E30が5件、CA9、CB4、E3が2件、CB1、E14、E16、E25、EV71が各1件報告されている。

E9は36件中35件が長崎県での検出である。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス検出報告数、2005年

(病原微生物検出情報：2005年8月19日現在報告数)



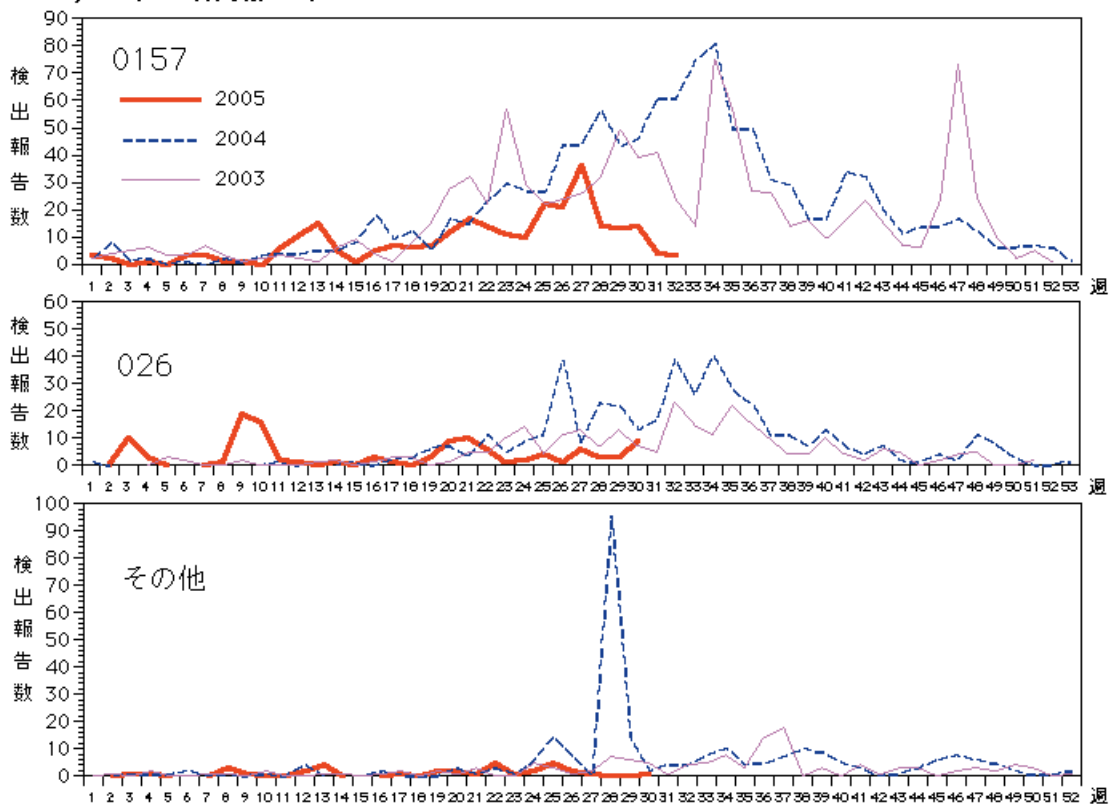
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年

2005年の検出総数は419件で、O157が270件、O26が114件、その他の血清型が35件報告されている。第30週に宮城県からO157の集団発生(高校)、佐賀県からO26の集団発生(保育所)が報告されている。

0157,026週別検出報告数、年別比較 2003～2005年 (病原微生物検出情報: 2005年8月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



宮城県における手足口病の地域流行

宮城県の感染症発生動向調査における手足口病患者の定点当たり報告数は、2005年第25週より増加し始め、第28週に4.34人とピークを迎えたが、第30週には2.57人に減少し、県全体では小流行の状況であった。

しかし、県北部に位置する気仙沼保健所管内の患者報告数が第18週から増え始め、第20週には5.33人と警報レベルの基準値を超えた。その後も患者報告数は増加し、第28週には53.00人と、過去10年間における同管内の患者報告数と比べて最大であり、一地域のみの大流行となった。

年齢別では一般的に、2歳以下の幼児が患者の半数を占めると言われているが、今回は3～5歳の患者が約54%と半数を占め、流行の中心であった。また、流行は学童年齢へ広がっていく傾向がみられた。定点医療機関において、第21～23週に咽頭ぬぐい液が合計15件採取され、当センターで検体を3種類の細胞(RD-18S、Vero、CaCo-2)に接種し、ウイルス分離を行った。その結果、継代3代目(約1カ月経過後)で、15件中12件にCaCo-2細胞で細胞変性効果(CPE)が見られた。その後、CaCo-2細胞でCPEが確認された12件中8件は、Vero細胞でも極めて弱いCPEが出現した。同時に、乳飲みマウスでの分離を試みたがすべて陰性であった。

CPE陽性細胞培養液上清を用い、国立感染症研究所から分与された抗血清による中和試験を実施したが、A群コクサッキーウイルス16型(CA16)に難中和性を示した(継続検査中)。そこで、上清からRNAを抽出し、(1)エンテロウイルスのVP4-VP2部分領域におけるプライマー(EVP4、OL68-1)と、(2)CA16検出用の山崎らのプライマー(感染症学雑誌, 75: 909-915, 2001)を用いたRT-PCRを行った結果、両領域ともに特異的な増幅産物が確認された。さらに、(1)で得られた増幅産物をダイレクトシーケンス法で塩基配列を決定し、BLASTによる検索を行った結果、12検体すべてがCA16にアミノ酸レベルで98～100%の相同性を示した。

以上の結果から、今回の手足口病の地域流行はCA16が原因と考えられた。第30週現在、気仙沼保健所管内における定点当たり報告数は28.00人と、警報レベルの状態であり、地域流行は終息していないため、今後も注意深く動向を監視する必要があると思われる。

宮城県保健環境センター・微生物部

菊地奈穂子 庄司美加 山木紀彦 後藤郁男 植木 洋 沖村容子 秋山和夫

宮城県気仙沼保健所・健康対策班

(IASR2005年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

鳥類でのH5N1型鳥インフルエンザ感染の地理的拡大; 現状の評価と公衆衛生上の意義

WHO/CSR 2005年8月18日 更新28

2005年7月後半以降、各国政府当局からOIEに寄せられた公式報告から、H5N1型鳥インフルエンザウイルスがその感染範囲を拡大させていることが示されている。ロシアとカザフスタン当局は、7月後半に家禽での鳥インフルエンザ流行を報告し、8月初旬にその病因がH5N1型株であることを確認した。同ウイルス株に感染した渡り鳥の死亡も報告されている。両国での鳥インフルエンザ感染発生は、共用の水源地での家禽と野生の水鳥同士の接触が原因とされる。今回の事例は、両国で記録された初の高病原性H5N1型鳥インフルエンザ流行である。両国とも、これ以前にはH5N1型株の感染は存在しないとされていた。

ロシアの家禽でのH5N1流行の報告以降、西方への拡大を続け、6行政区に拡大した。カザフスタンではシベリアの最初の流行が発生した場所の近隣の村で、家禽の鳥インフルエンザを経験した。現在までに、この2カ国での流行は小さな庭での飼育だけでなく、一部の大規模農場で発生しており、ロシアでは12万羽が、カザフスタンでは感染した9千羽が殺処分された。

8月初旬、モンゴル当局は同国北部の湖2カ所で発生した渡り鳥89羽の大量死を受けて、緊急報告を発した。病因として鳥インフルエンザAウイルスが同定されたが、血清型は決定されていない。また同時期に、中国のチベット地方でも家禽でのH5N1型株流行が確認された。

これらの最近の流行では、当局はFAOとOIEの高病原性鳥インフルエンザ対策の勧告に基づき、制圧対策を実施している。現在、ヒトの感染例は検出されていないが、高度警戒態勢を敷き、噂については現地当局が調査を行っている。

現在、東南アジアでは2003年中期に流行が開始したことが知られているが、ロシアとカザフスタンでの流行は、H5N1ウイルスがその最初の流行地から拡大したことを実証している。積極的な制圧対策に関わらず、H5N1ウイルスはベトナムとインドネシアの多くの場所で、またカンボジア、中国、タイの一部地域で、そしておそらくラオスで検出され続けていることをFAOは警告した。東南アジアの流行では1億5千万羽以上の鳥を殺処分する結果になり、農業全体に取り、また裏庭でのニワトリの飼育に収入と食料を依存している多数の田舎の農夫に取り、大きな損失になった。

公衆衛生上の意義(要旨):

1997年と2003年の香港、2004年初期以降の東南アジアで実際に起きたように、家禽でのH5N1型株感染が新たに発生した地区では、同様のヒト患者発生の危険性が存在する。患者の大部分が辺地で発生し、その大部分が死亡したり発病した家禽への直接的な曝露と関連している。各地域で異なる家禽の飼育密度とその飼育方法が、ヒト患者発生のリスクに影響している可能性がある。

パンデミックの可能性評価(要旨):

新たな国で、家禽でのH5N1型鳥インフルエンザ感染拡大が発生する可能性は除外できない。同ウイルス感染の地理的な拡大は、ヒトへの曝露機会を増大させるため、懸念される。ヒトの間で急速に伝播されるH5N1株の新興は、パンデミックの端緒となる可能性がある。

中国での豚レンサ球菌流行

WHO/WPRO NEWS 2005年8月16日

中国では、最近のブタにおける豚レンサ球菌流行に関する調査結果がまとまりつつある。中国衛生部の提供情報に基づき、WHOが招集した豚レンサ球菌の国際専門家グループが評価を行い、今回の中国におけるヒトでの流行は、豚レンサ球菌を原因とすることに合致すると評価した。調査詳細：

現時点で中国衛生部は、215名のヒト患者発生を報告している。このうち39人が死亡した。8月5日以降、新規患者は発生していない。中国が提供したデータによると、流行のピークは7月第2～4週で、その後急速に減少した。一部の患者は、疫学調査が開始された後に遡って発見された。

最初の患者では腎症候性出血熱が疑われたが、検査により否定された。それ以降さらに、発熱、倦怠感、悪心、嘔吐を示し、一部ではその後に髄膜炎、皮下出血、毒素性ショック、昏睡に至る臨床症状を示す患者が報告された。ほぼ全ての患者が現地の農夫か肉屋かであり、約80%が男性で、発病したブタを屠殺したか、その肉を処理または販売した。40%以上の患者が50～60才であった。

患者検体の検査により、豚レンサ球菌血清型2型が確認された。中国農業部の調査により、現地のブタからも豚レンサ球菌が検出された。ブタでのインフルエンザウイルスとニパウイルスの可能性は、検査により除外された。

当局によると、現在までの調査ではヒト-ヒト感染の証拠は見られてなく、患者の手当を行った医療従事者からも患者は発生していない。中国衛生部によると、何故今回の流行が最近の流行と比較してこれほど大規模であったのかについては、さらなる調査が必要である。



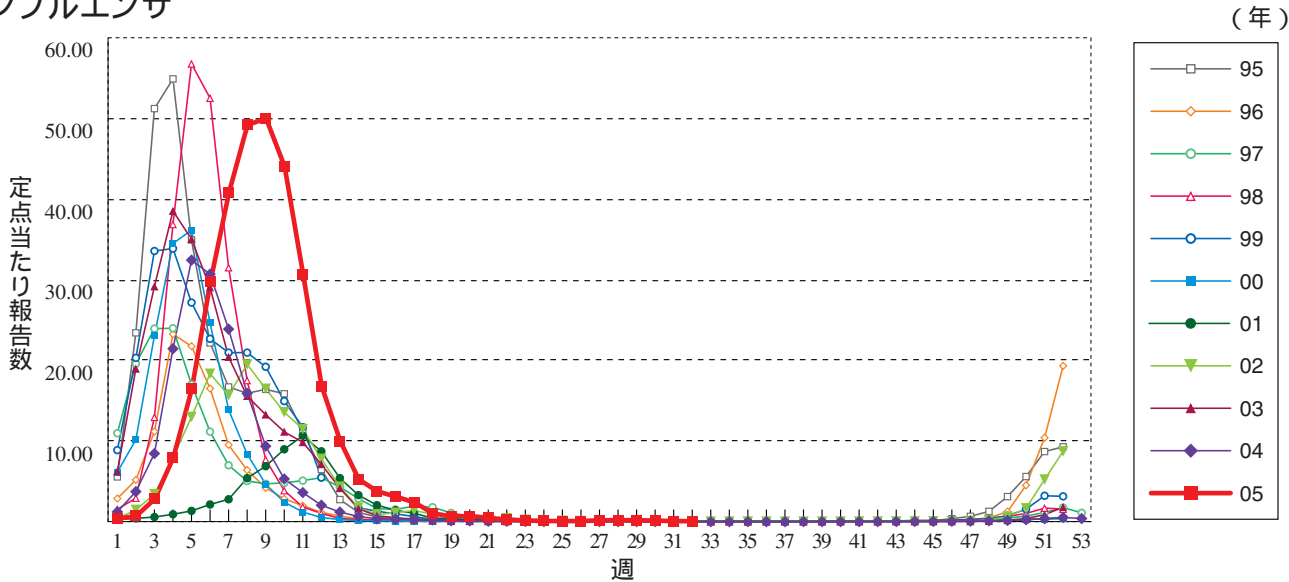
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

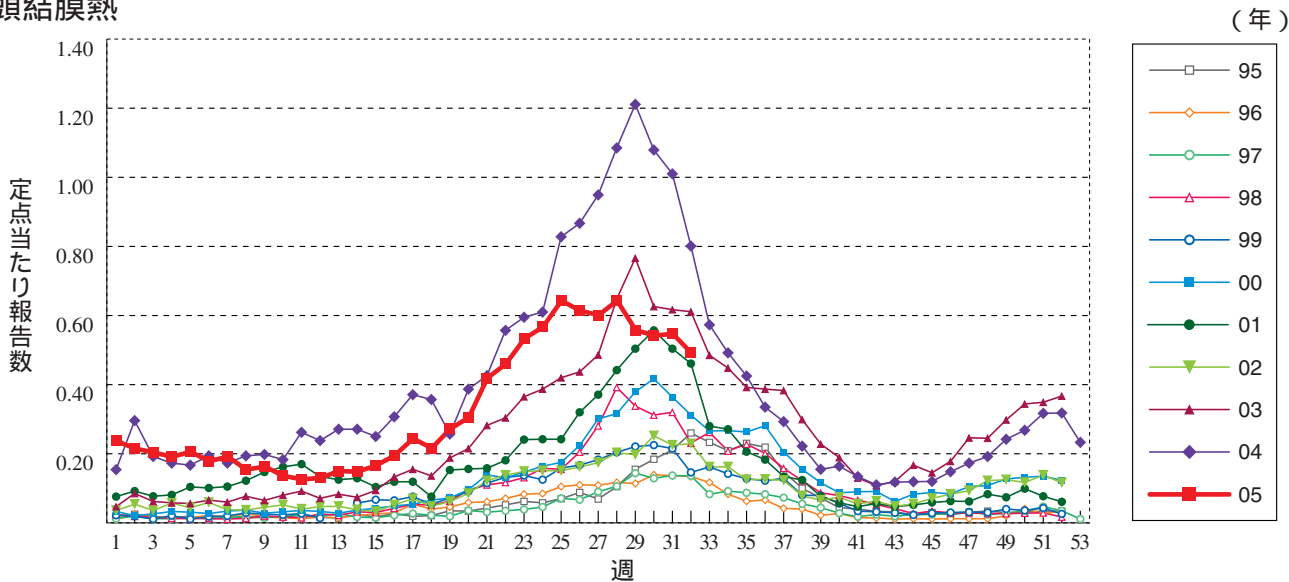


グラフ総覧(3 2 週)

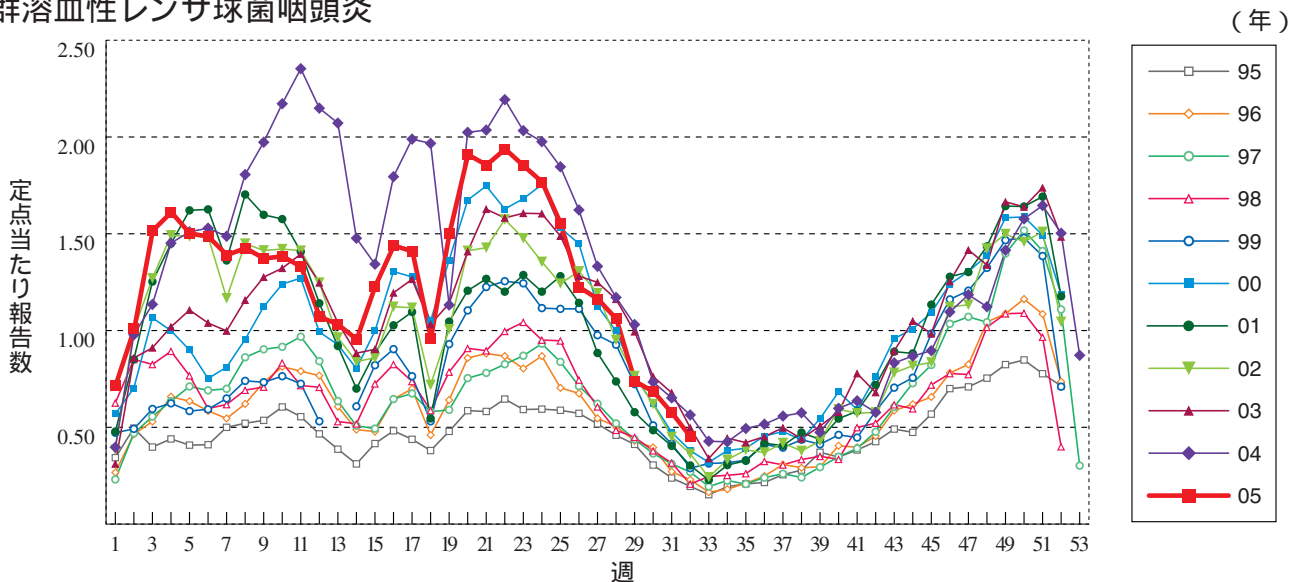
インフルエンザ



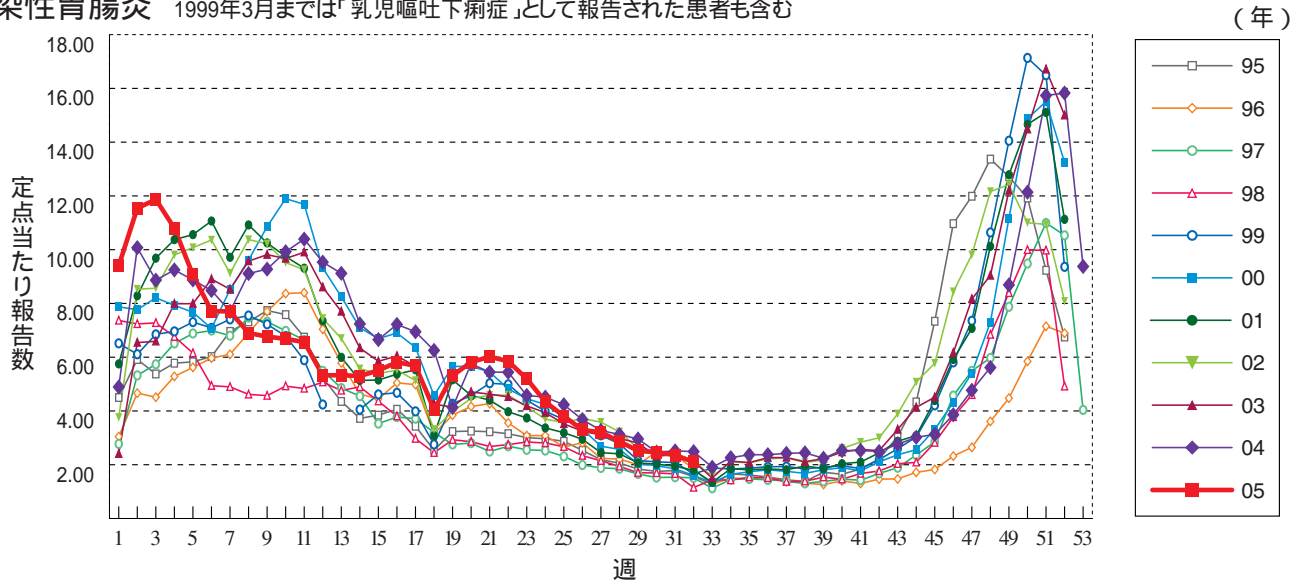
咽頭結膜熱



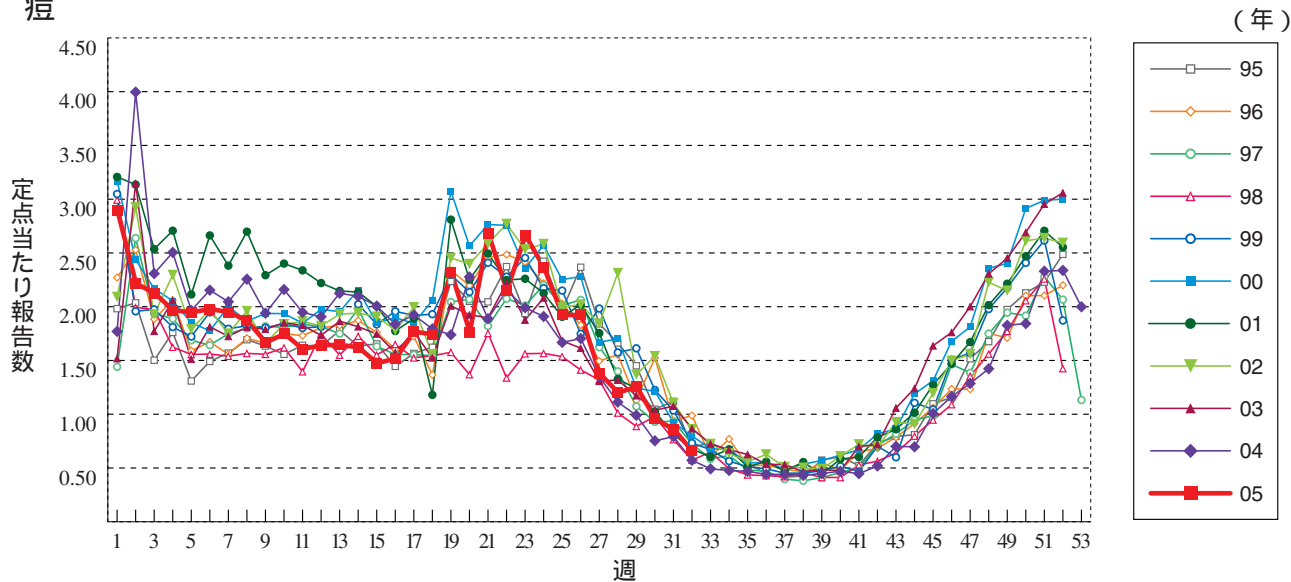
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



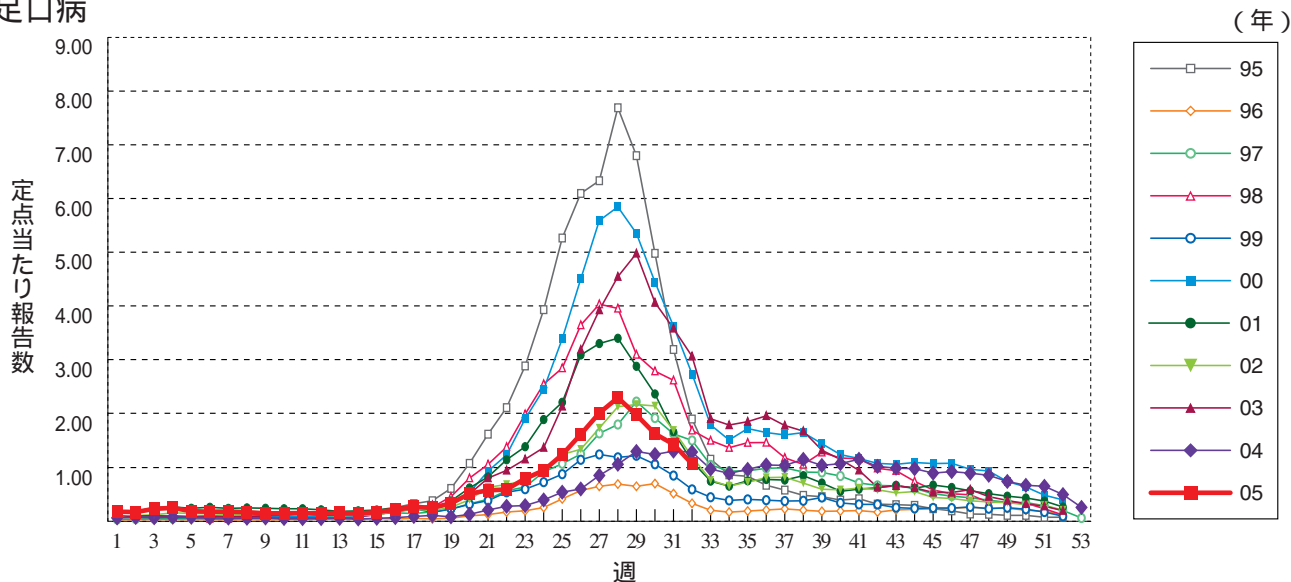
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



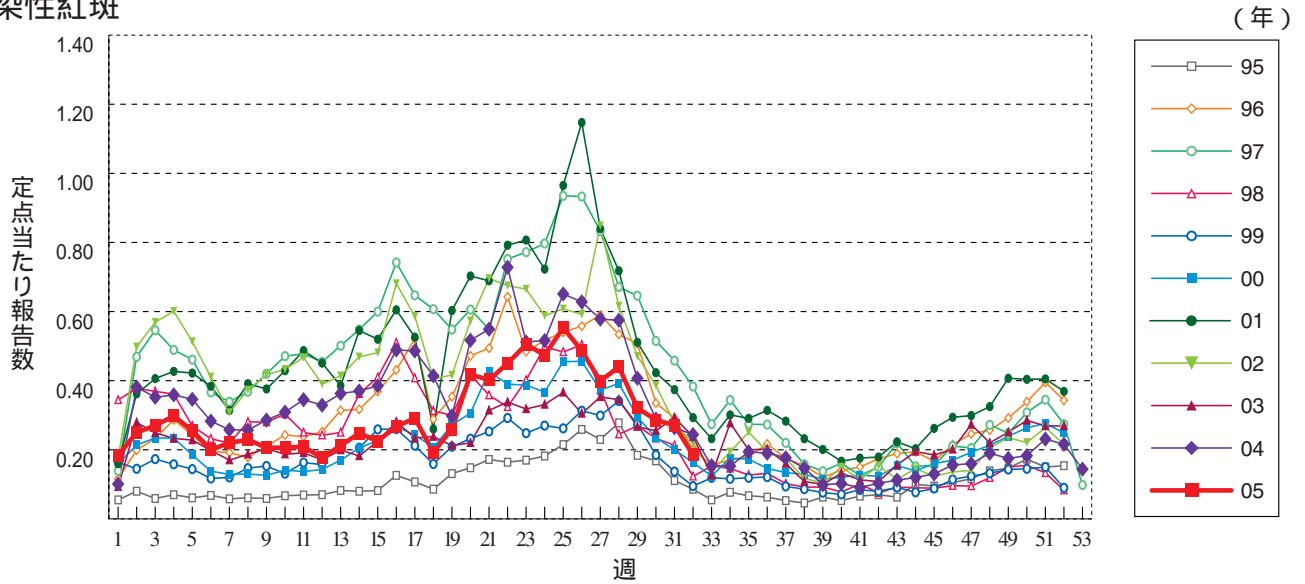
水痘



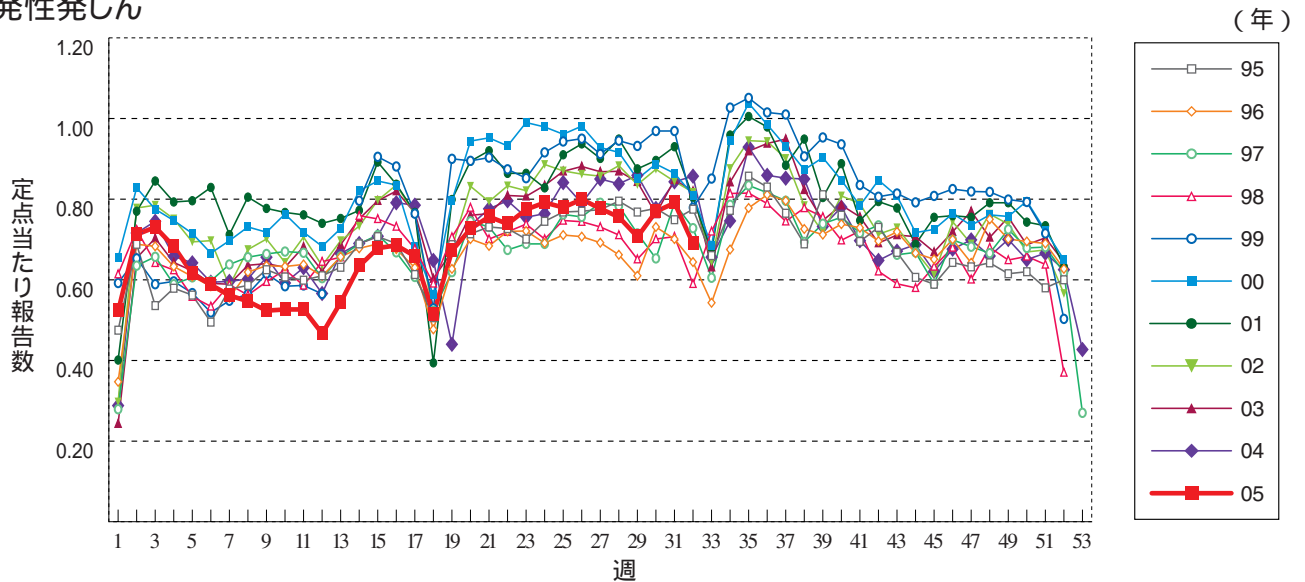
手足口病



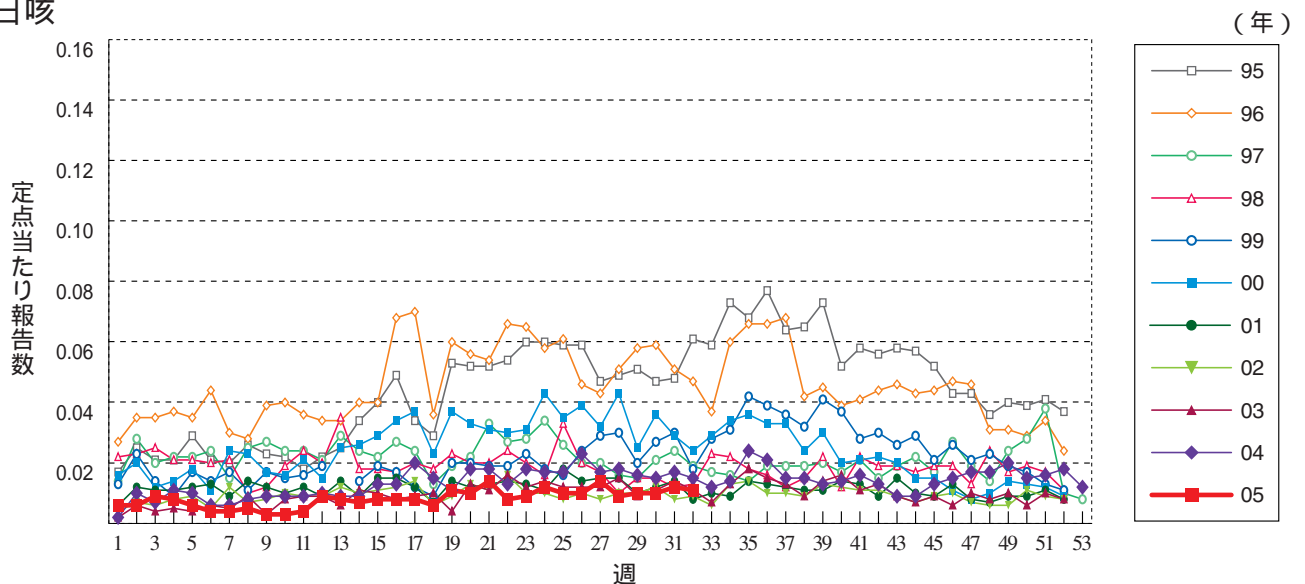
伝染性紅斑



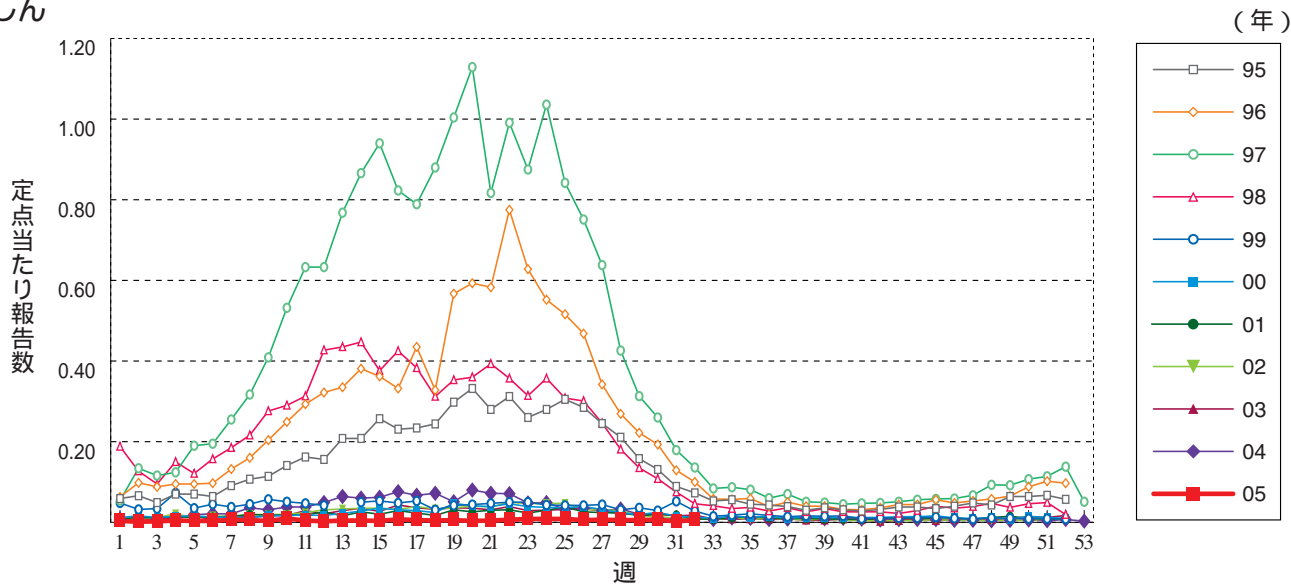
突発性発しん



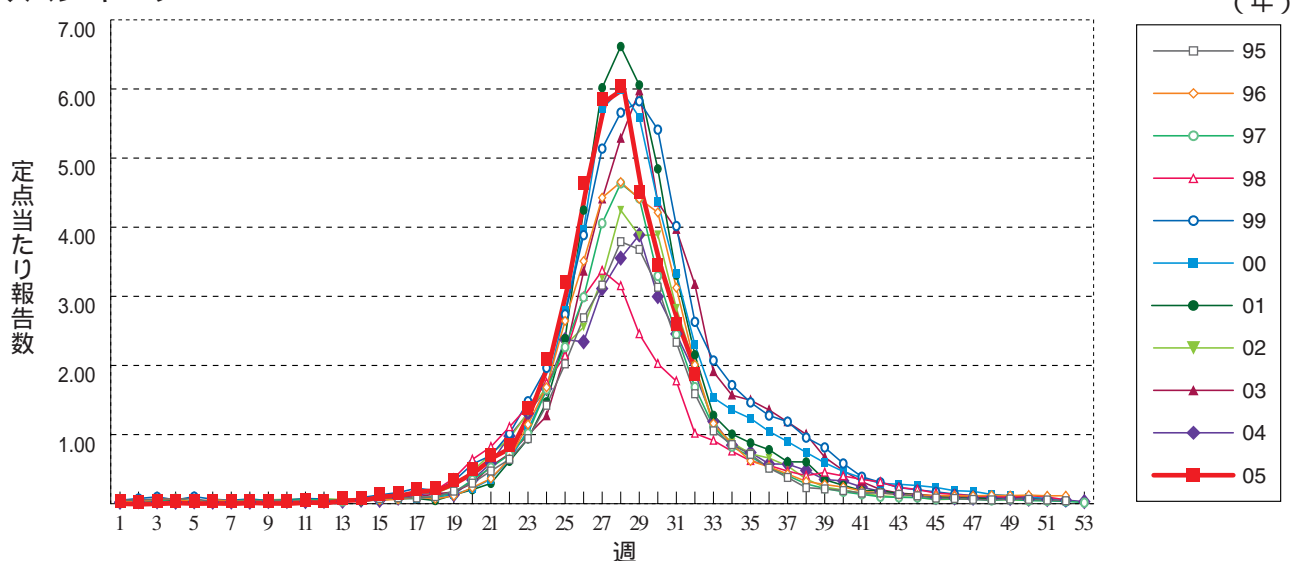
百日咳



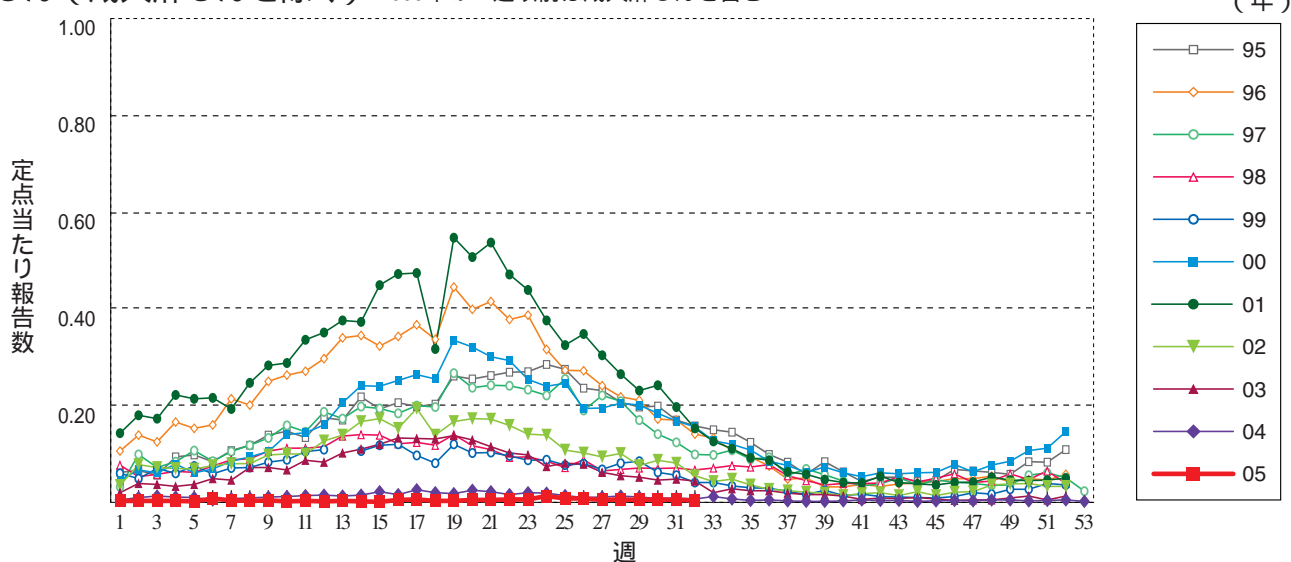
風しん



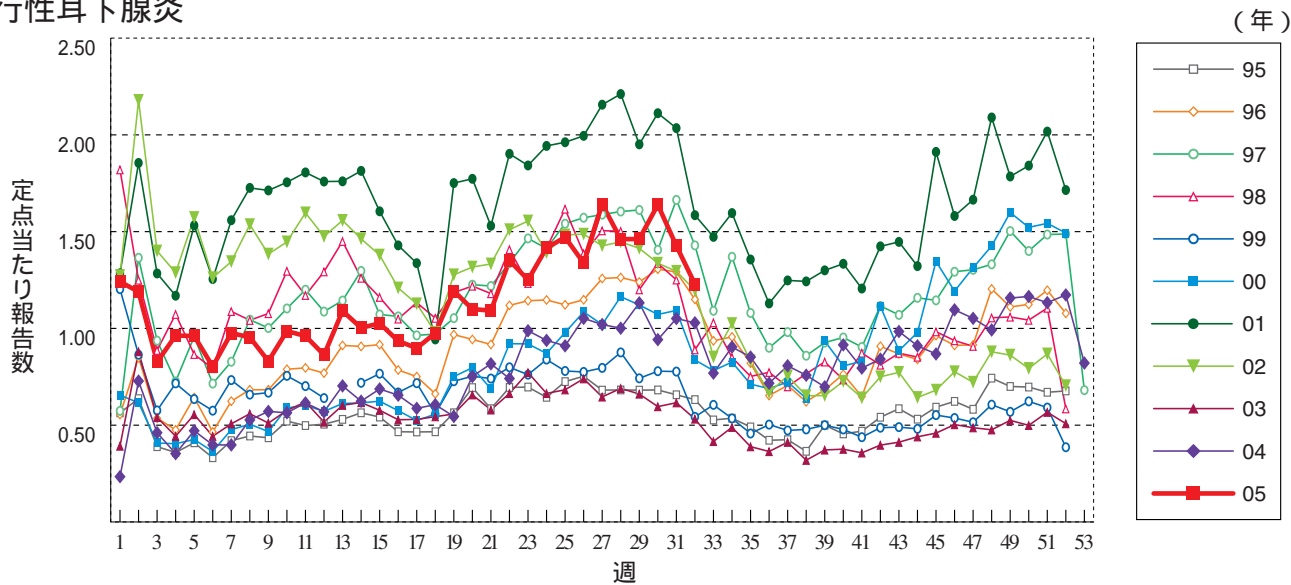
ヘルパンギーナ



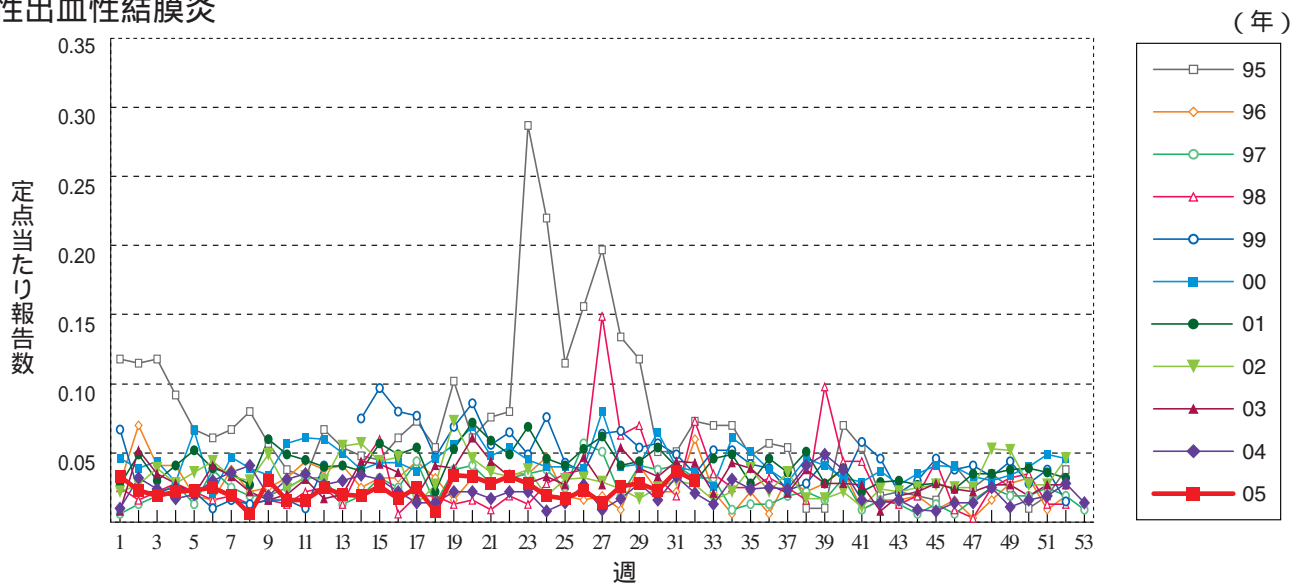
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



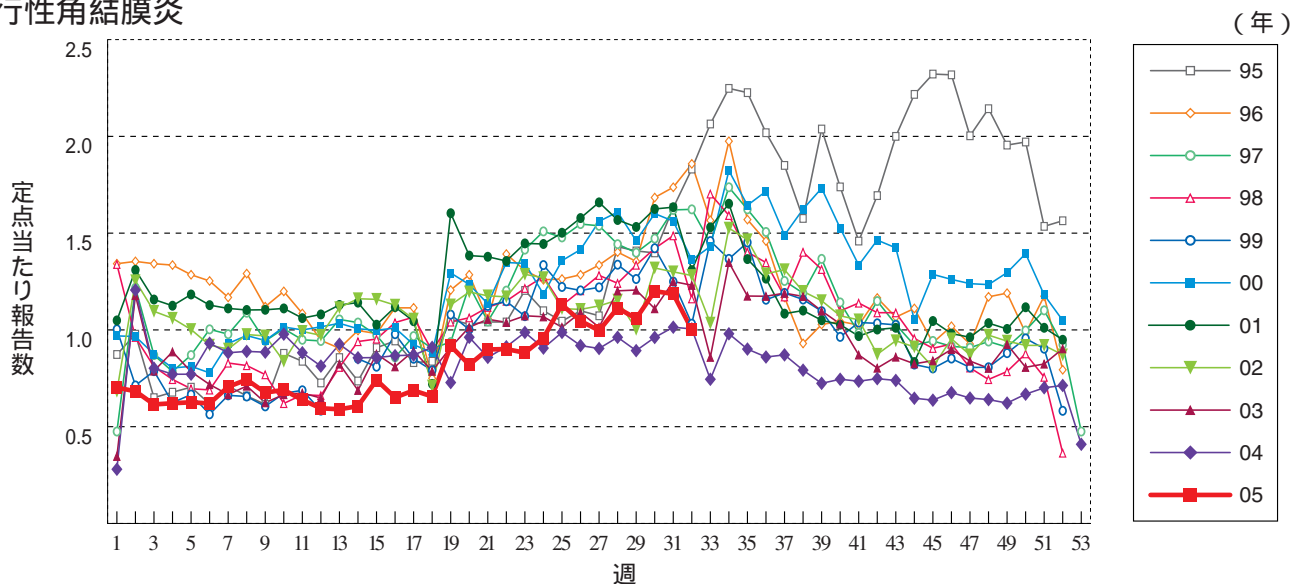
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

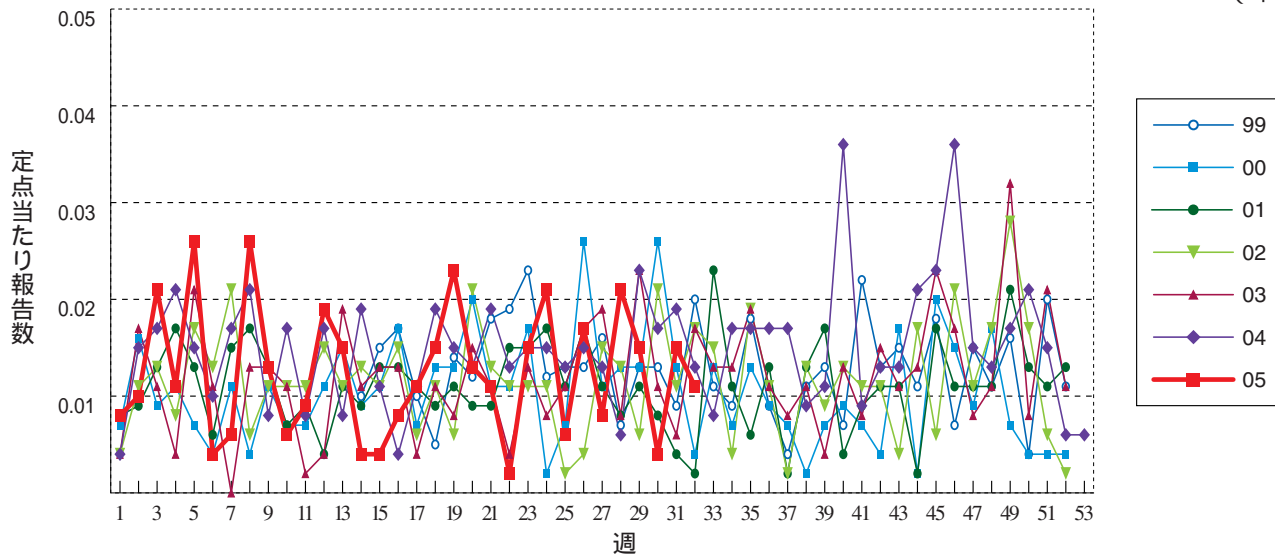


流行性角結膜炎



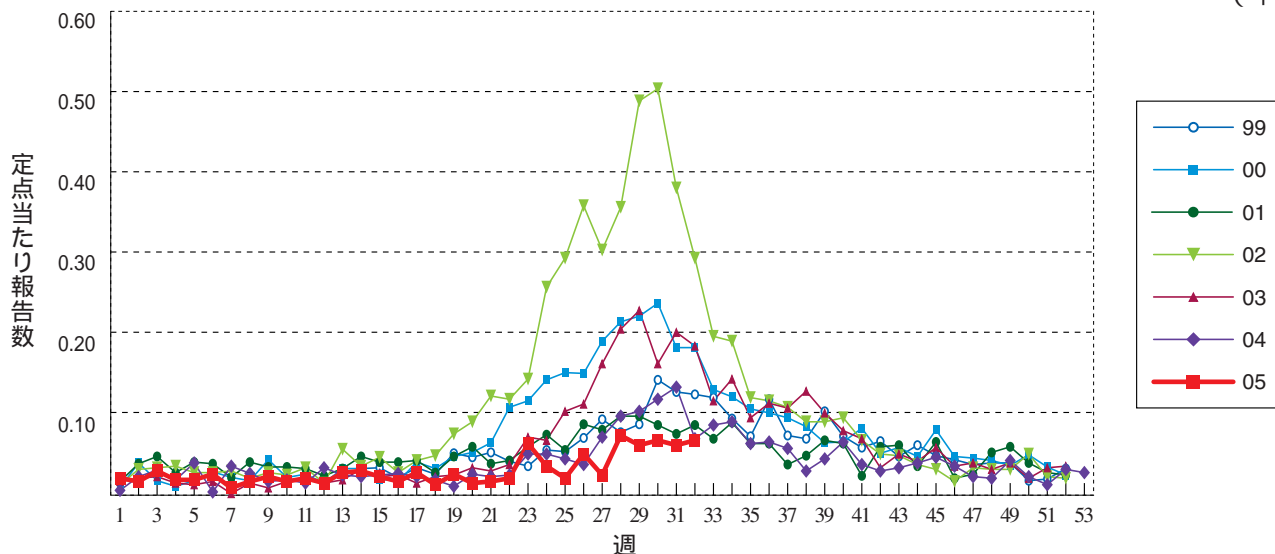
細菌性髄膜炎

(年)



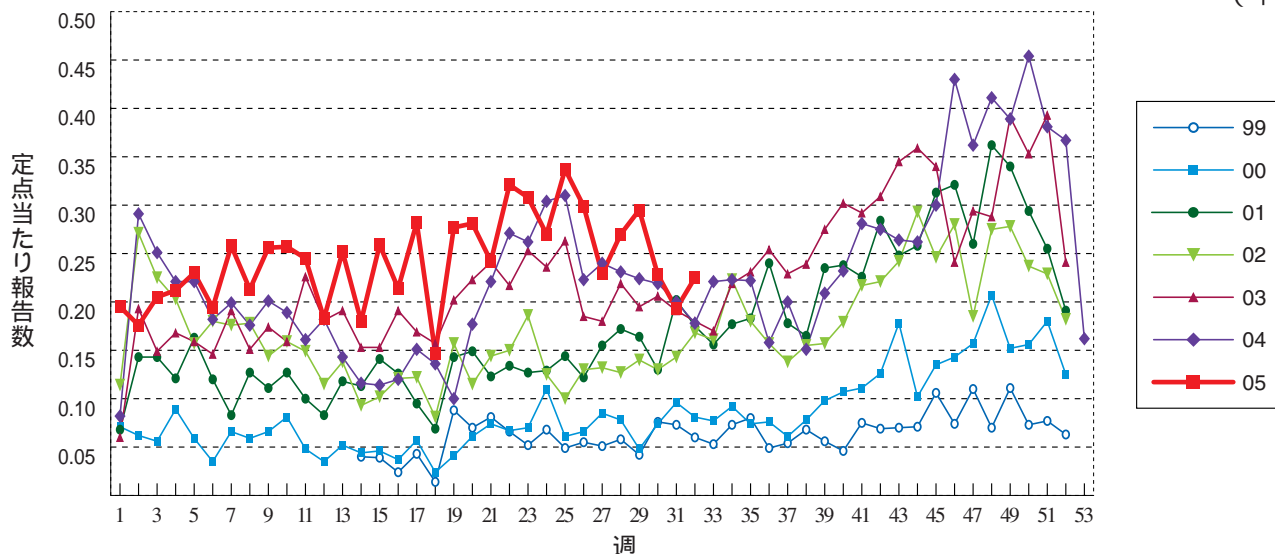
無菌性髄膜炎

(年)



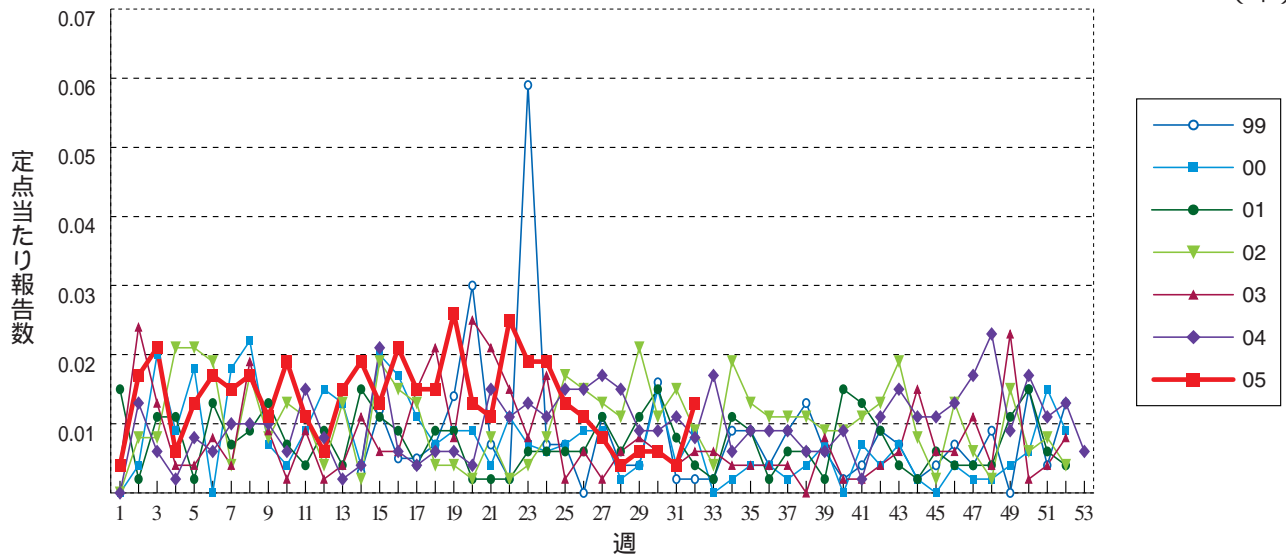
マイコプラズマ肺炎

(年)



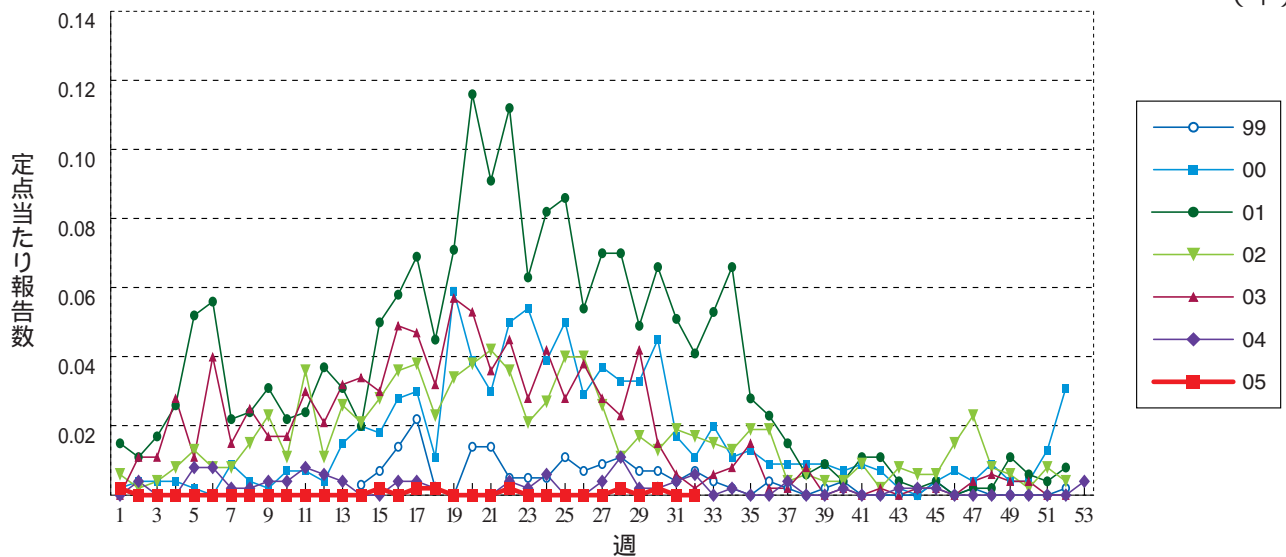
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



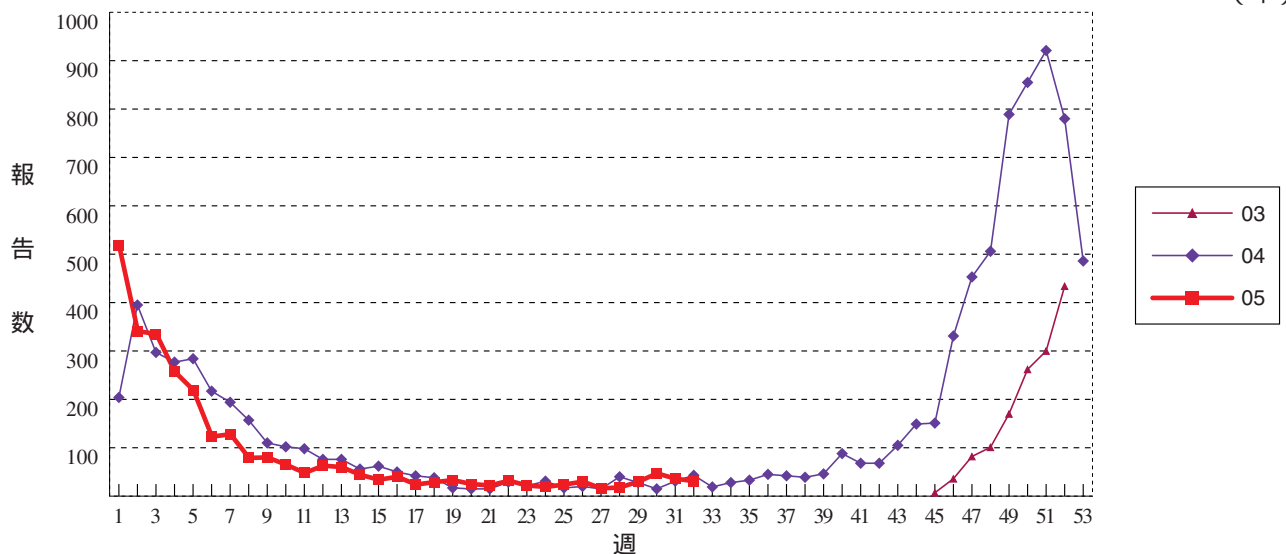
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





32週のデータ

注)表中の報告数は8月18日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年32週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	9	342	2	31	1	9		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	4	-	-		
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	7	-	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	12	-	1	-	-		
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	26	-	3	-	1		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	52	-	4	-	3		
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	16	-	1	-	1		
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	1	-	-		
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56	1	4	1	2		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-		
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	56	-	5	-	1		
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	1	-	-		
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	22	-	1	-	-		
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-		
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-		

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年32週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	137	1816	7	423	-	12	-	-	1	26	-	-	4	183
北海道	-	-	-	-	2	108	1	9	-	11	-	-	-	1	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	1	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	4	29	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	3	62	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
秋田県	-	-	-	-	-	35	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	2	12	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1	12	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	1	20	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	1	11	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	1	33	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	9	72	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	15	87	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	9	107	4	116	-	1	-	-	-	2	-	-	-	26
神奈川県	-	-	-	-	5	62	-	33	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
新潟県	-	-	-	-	1	14	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	2	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	19	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	2	17	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	2	30	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	2	40	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	3	39	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	14	97	-	32	-	-	-	-	1	4	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	4	31	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	11	111	-	55	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18
兵庫県	-	-	-	-	9	64	-	17	-	-	-	-	-	5	-	-	1	18
奈良県	-	-	-	-	3	23	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	39	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	6	69	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	2	30	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	1	30	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	8	86	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
佐賀県	-	-	-	-	1	39	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	37	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	31	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	83	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	5	73	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
鹿児島県	-	-	-	-	4	24	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	1	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年32週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	8	-	-	-	5	2	83	1	38	11	710	-	1	2	42	-	-
北海道	-	1	-	-	-	3	-	5	-	-	-	12	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	16	-	-	-	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	9	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	19	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	29	-	-	-	1	-	-
東京都	-	3	-	-	-	1	-	11	-	2	5	254	-	-	-	8	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	1	-	6	-	2	-	35	-	-	-	7	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	1	1	3	-	4	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	21	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	46	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	9	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	5	1	85	-	-	1	5	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	18	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	1	18	-	-	1	5	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年32週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	8	-	-	-	-	-	104	2	24	2	28	-	-	12	322	1	58
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	3	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	5	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	6	-	3
東京都	-	3	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	1	47	-	1
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	13	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	29	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	7	1	2
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	46	-	1
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	7	-	-	-	1	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	6	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	5	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	4
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	1	18	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	17	-	3
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	4	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	7	-	-	1	9	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年32週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	45	-	-	-	-	-	1	-	-	-	43	1	5	6	133
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
東京都	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11	-	3	-	12
神奈川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	11
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年32週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	31	-	-	1	130	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	5	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年32週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	4	-	129	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	-	13	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	-	15	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年32週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	234	0.05	1481	0.49	1356	0.45	6346	2.11	1987	0.66	3217	1.07	556	0.18	2081	0.69	33	0.01
北海道	1	0.00	46	0.32	68	0.47	152	1.05	125	0.86	100	0.69	17	0.12	63	0.43	2	0.01
青森県	-	-	27	0.64	15	0.36	46	1.10	40	0.95	100	2.38	25	0.60	30	0.71	-	-
岩手県	-	-	3	0.08	5	0.14	57	1.54	15	0.41	33	0.89	4	0.11	17	0.46	-	-
宮城県	-	-	20	0.33	16	0.26	118	1.93	42	0.69	77	1.26	20	0.33	53	0.87	-	-
秋田県	-	-	13	0.37	13	0.37	88	2.51	18	0.51	17	0.49	8	0.23	22	0.63	-	-
山形県	1	0.02	26	0.87	21	0.70	49	1.63	26	0.87	9	0.30	1	0.03	29	0.97	1	0.03
福島県	-	-	12	0.25	22	0.46	139	2.90	45	0.94	126	2.63	19	0.40	46	0.96	-	-
茨城県	8	0.07	22	0.30	43	0.58	75	1.01	53	0.72	40	0.54	15	0.20	31	0.42	-	-
栃木県	-	-	13	0.28	8	0.17	56	1.22	27	0.59	47	1.02	11	0.24	25	0.54	1	0.02
群馬県	-	-	21	0.34	37	0.60	103	1.66	53	0.85	140	2.26	2	0.03	35	0.56	-	-
埼玉県	1	0.00	46	0.33	53	0.38	359	2.56	133	0.95	166	1.19	25	0.18	111	0.79	2	0.01
千葉県	-	-	61	0.50	48	0.39	186	1.52	66	0.54	82	0.67	24	0.20	82	0.67	1	0.01
東京都	-	-	46	0.32	84	0.59	257	1.81	67	0.47	113	0.80	25	0.18	68	0.48	-	-
神奈川県	-	-	76	0.37	79	0.38	327	1.59	114	0.55	238	1.16	68	0.33	121	0.59	1	0.00
新潟県	-	-	18	0.29	34	0.55	62	1.00	52	0.84	249	4.02	3	0.05	47	0.76	-	-
富山県	-	-	11	0.38	10	0.34	85	2.93	25	0.86	30	1.03	3	0.10	25	0.86	-	-
石川県	1	0.02	18	0.62	15	0.52	105	3.62	22	0.76	7	0.24	1	0.03	23	0.79	-	-
福井県	1	0.03	11	0.50	17	0.77	155	7.05	28	1.27	5	0.23	1	0.05	17	0.77	-	-
山梨県	1	0.02	15	0.60	13	0.52	46	1.84	19	0.76	11	0.44	5	0.20	8	0.32	-	-
長野県	-	-	37	0.67	31	0.56	93	1.69	49	0.89	41	0.75	7	0.13	40	0.73	-	-
岐阜県	1	0.01	25	0.47	20	0.38	31	0.58	48	0.91	14	0.26	4	0.08	16	0.30	-	-
静岡県	-	-	100	1.16	31	0.36	253	2.94	62	0.72	71	0.83	4	0.05	67	0.78	2	0.02
愛知県	2	0.01	112	0.62	63	0.35	330	1.81	93	0.51	46	0.25	17	0.09	105	0.58	1	0.01
三重県	-	-	17	0.38	21	0.47	127	2.82	38	0.84	15	0.33	5	0.11	39	0.87	-	-
滋賀県	-	-	29	0.88	8	0.24	43	1.30	16	0.48	18	0.55	1	0.03	16	0.48	-	-
京都府	-	-	16	0.21	26	0.35	188	2.51	18	0.24	40	0.53	6	0.08	37	0.49	-	-
大阪府	-	-	100	0.51	86	0.43	259	1.31	120	0.61	142	0.72	39	0.20	108	0.55	5	0.03
兵庫県	-	-	49	0.38	50	0.39	322	2.52	48	0.38	88	0.69	21	0.16	76	0.59	-	-
奈良県	-	-	15	0.44	20	0.59	47	1.38	19	0.56	31	0.91	8	0.24	19	0.56	-	-
和歌山県	-	-	14	0.45	12	0.39	77	2.48	20	0.65	19	0.61	2	0.06	15	0.48	1	0.03
鳥取県	1	0.03	1	0.05	7	0.37	68	3.58	17	0.89	112	5.89	3	0.16	18	0.95	-	-
島根県	-	-	10	0.43	12	0.52	87	3.78	24	1.04	54	2.35	3	0.13	25	1.09	-	-
岡山県	2	0.02	7	0.13	24	0.44	94	1.74	35	0.65	236	4.37	1	0.02	25	0.46	-	-
広島県	-	-	24	0.34	21	0.30	226	3.18	39	0.55	187	2.63	2	0.03	48	0.68	2	0.03
山口県	-	-	52	1.06	49	1.00	167	3.41	23	0.47	216	4.41	6	0.12	33	0.67	-	-
徳島県	-	-	13	0.57	14	0.61	32	1.39	14	0.61	42	1.83	1	0.04	21	0.91	-	-
香川県	-	-	8	0.25	8	0.25	82	2.56	12	0.38	26	0.81	7	0.22	25	0.78	2	0.06
愛媛県	-	-	56	1.51	29	0.78	160	4.32	21	0.57	60	1.62	3	0.08	70	1.89	-	-
高知県	1	0.02	43	1.39	23	0.74	46	1.48	17	0.55	10	0.32	-	-	17	0.55	-	-
福岡県	1	0.01	123	1.03	78	0.65	368	3.07	93	0.78	70	0.58	60	0.50	126	1.05	10	0.08
佐賀県	-	-	17	0.74	11	0.48	57	2.48	21	0.91	12	0.52	5	0.22	43	1.87	-	-
長崎県	-	-	24	0.55	4	0.09	82	1.86	29	0.66	14	0.32	6	0.14	21	0.48	2	0.05
熊本県	-	-	22	0.46	20	0.42	135	2.81	13	0.27	22	0.46	12	0.25	62	1.29	-	-
大分県	-	-	24	0.67	30	0.83	197	5.47	41	1.14	14	0.39	8	0.22	40	1.11	-	-
宮崎県	1	0.02	20	0.56	32	0.89	178	4.94	21	0.58	10	0.28	15	0.42	55	1.53	-	-
鹿児島県	16	0.17	8	0.14	21	0.38	109	1.95	43	0.77	7	0.13	30	0.54	48	0.86	-	-
沖縄県	195	3.36	10	0.29	4	0.12	23	0.68	23	0.68	10	0.29	3	0.09	13	0.38	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年32週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	23	0.01	5639	1.87	14	0.00	3699	1.23	19	0.03	635	1.00	5	0.01	32	0.07	106	0.23
北海道	2	0.01	303	2.09	1	0.01	154	1.06	-	-	11	0.38	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	209	4.98	-	-	31	0.74	1	0.09	14	1.27	-	-	-	-	4	0.67
岩手県	-	-	107	2.89	-	-	19	0.51	-	-	21	1.75	1	0.05	-	-	-	-
宮城県	-	-	115	1.89	-	-	73	1.20	2	0.17	1	0.08	-	-	-	-	1	0.08
秋田県	-	-	80	2.29	-	-	27	0.77	-	-	1	0.14	-	-	7	0.88	1	0.13
山形県	-	-	55	1.83	-	-	64	2.13	-	-	-	-	-	-	1	0.10	5	0.50
福島県	2	0.04	81	1.69	-	-	61	1.27	-	-	20	1.67	-	-	-	-	3	0.43
茨城県	1	0.01	54	0.73	-	-	150	2.03	-	-	26	1.63	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	43	0.93	-	-	31	0.67	-	-	12	1.00	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	-	-	126	2.03	-	-	39	0.63	-	-	26	1.86	-	-	-	-	7	0.70
埼玉県	-	-	272	1.94	-	-	172	1.23	1	0.03	59	1.84	-	-	3	0.33	4	0.44
千葉県	2	0.02	157	1.29	1	0.01	146	1.20	-	-	15	0.48	-	-	4	0.44	1	0.11
東京都	2	0.01	179	1.26	3	0.02	133	0.94	1	0.07	7	0.50	-	-	2	0.08	-	-
神奈川県	5	0.02	345	1.67	1	0.00	246	1.19	-	-	29	0.69	1	0.08	2	0.17	-	-
新潟県	-	-	226	3.65	2	0.03	43	0.69	-	-	11	1.10	-	-	-	-	7	0.54
富山県	-	-	41	1.41	-	-	58	2.00	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	66	2.28	-	-	137	4.72	-	-	4	0.57	-	-	1	0.20	8	1.60
福井県	-	-	74	3.36	-	-	35	1.59	-	-	7	2.33	1	0.17	-	-	2	0.33
山梨県	-	-	73	2.92	1	0.04	6	0.24	-	-	1	0.33	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	293	5.33	-	-	119	2.16	-	-	17	1.70	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	0.02	60	1.13	-	-	51	0.96	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	191	2.22	-	-	150	1.74	-	-	28	1.40	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	212	1.16	-	-	206	1.13	1	0.03	33	0.94	1	0.08	-	-	1	0.08
三重県	-	-	144	3.20	-	-	40	0.89	1	0.08	17	1.42	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	88	2.67	-	-	42	1.27	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	142	1.89	1	0.01	59	0.79	-	-	23	1.28	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.02	266	1.34	3	0.02	152	0.77	-	-	26	0.50	-	-	1	0.07	6	0.43
兵庫県	-	-	278	2.17	-	-	81	0.63	-	-	23	0.66	-	-	1	0.07	1	0.07
奈良県	-	-	43	1.26	-	-	47	1.38	-	-	4	0.44	-	-	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	54	1.74	-	-	45	1.45	-	-	1	0.25	-	-	1	0.09	3	0.27
鳥取県	-	-	21	1.11	-	-	26	1.37	-	-	2	0.67	-	-	1	0.20	-	-
島根県	-	-	40	1.74	-	-	22	0.96	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	83	1.54	-	-	40	0.74	-	-	8	0.67	-	-	-	-	11	2.20
広島県	2	0.03	102	1.44	-	-	111	1.56	-	-	18	0.90	-	-	3	0.16	3	0.16
山口県	-	-	64	1.31	-	-	35	0.71	-	-	9	1.00	-	-	-	-	13	1.44
徳島県	-	-	36	1.57	-	-	23	1.00	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	31	0.97	-	-	77	2.41	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	59	1.59	-	-	68	1.84	1	0.13	27	3.38	-	-	-	-	4	0.67
高知県	-	-	24	0.77	-	-	19	0.61	-	-	6	2.00	-	-	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	187	1.56	-	-	218	1.82	2	0.08	17	0.65	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	57	2.48	-	-	32	1.39	-	-	-	-	1	0.17	-	-	1	0.17
長崎県	1	0.02	51	1.16	1	0.02	50	1.14	7	0.88	25	3.13	-	-	-	-	2	0.17
熊本県	-	-	64	1.33	-	-	109	2.27	-	-	10	1.11	-	-	3	0.20	4	0.27
大分県	-	-	158	4.39	-	-	44	1.22	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	189	5.25	-	-	49	1.36	2	0.50	7	1.75	-	-	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	-	-	82	1.46	-	-	56	1.00	-	-	4	0.57	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	-	-	14	0.41	-	-	103	3.03	-	-	29	2.90	-	-	-	-	3	0.43

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年32週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	6	0.01	-	-	31
北海道	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	...
山形県	-	-	-	-	-
福島県	3	0.43	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	13
神奈川県	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	...
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	3	0.30	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	-	-	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	6

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年32週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	-	-	-	2	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第7巻 第32号 平成17年8月26日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
< 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。